

## CLIMATE 101（気候の基礎知識）：「気象」と「気候」



### 基礎情報

気候と気象は同じではありません！ **気象**は、短期間に起こるものです。気温や湿度、降水量など、日々（さらに言えば刻々と）変わります。**気候**は、もっと長期間、たいてい 30 年以上にわたる気象事象の平均です。要は、時間軸の違いです。米国の気象・気候専門家マーシャル・シェパード博士によるわかりやすい考え方をご紹介します。気象はあなたの気分、気候はあなたの性格にあたります。



米国航空宇宙局（NOAA）が気象と気候の違いをわかりやすく描いたイラスト

気象はものすごく変動することもあります。気候の傾向線は歴然としたある方向へと向かっています。温暖化して、より危険な世界に向かっているのです。だから私たちは今すぐ行動を起こさなければなりません。

## 気候危機は、気象にどのような影響を与えているのでしょうか？

気候は、日々変わる気象の長期的な平均だとお伝えしました。化石燃料の燃焼などの人間活動によって生じている気候システムの大きな変化は今日、日々の気象パターンに影響を与えています。これは、**私たちの悪いフィードバックループ**です。

気候が温暖化する中、私たちはより多くの「異常気象」を目にし始めており、その頻度は増しています。なぜでしょうか。それは気候変動が、主に水循環を強化することで、気象に影響を与えるからです。簡単に説明すると、水は、陸地および海面から大気中に蒸発し、雨や雪の形で地表に戻ります。地球全体が温まると、陸地や海からの蒸発を加速させ、多くの場所ですます激しい嵐を生む一方で、別の場所では干ばつをもたらすことになるのです。

## 基本データ

- ・人間が化石燃料を燃やすと、（二酸化炭素やメタンなどの）温室効果ガスが大気中に排出されます。温室効果ガスは熱を閉じ込めて地球の温暖化を進め、自然システムのバランスを崩します。

- ・でも、温暖化しているのは大気だけではありません。地球全体の海面温度も上昇しています。海水が温まると、ハリケーンなどの嵐が激しさを増し、危険性が高まります。

## 気象と気候の違いはなぜ重要なのでしょうか？

ことわざにあるように「木を見て森を見ず」にはなりたくありません。日々の暮らしでは気象に注目することが大事ですが、地球の気候が長い時間をかけてどのように変化しているかを大局的に見るのが**絶対**必要です。食料や水の安全保障から私たちの健康や経済に至るまで、気候変動はすべてに影響を与えるからです。

ひどく冷え込む日、誰かが「外は凍えそうだ。地球温暖化も終わりだな。」と言うことがあるかもしれません。気象と気候をごちゃ混ぜにした話は、気候変動否定論者が好んでします。ある日の気象は寒くて雪が降っているかもしれませんが、科学は明快です。平均すると、この世界は時間とともにどんどん温暖化が進んでいます。気候は変化しているのです。だから、私たちは科学的事実に基づき、このようなよくある（でも完全に間違っている！）議論の正否をしっかりと見極めることが大事なのです。

汚染をもたらす化石燃料は、ひどい気象状況、そして気候変動をもたらします。

クリーンな再生可能エネルギーに移行すれば、この危機の解決に役立つでしょう。私たちはまだ、行動を起こして、最悪の気候変動を回避することができます。でもそれは、化石燃料から脱却するところから始まるのです。

さらに詳しくは、[climaterealityproject.org](https://climaterealityproject.org)

最終更新 2020 年 1 月